



被爆青桐命名 (8月6日)

問 「神石高原町立病院」発足に万全を期せ

答 スタッフの確保に万全を期す

Q 指定管理者の寺岡記念病院のみで、医師・看護師などを確保できるのか。

A 町長
その通りだ。県職員
不可能に近い。「県立神石三和病院」の現職員にできるだけ多く残ってもらうべきと考える。

に残って頂くための嘆願書提出を考えている。寺岡理事長も町長と連名での要請を望んでおられる。

Q 現職員の残留を願う、町民あげての運動を展開すべきではないか。

A 町長
自治振興会、議会な

ど多くの団体に呼びかけ、県職員に残って頂くため嘆願書への署名活動を展開したい。

Q 小島バイパス事業の進捗状況はどうか。

A 町長
来年度は、以前第二工区といわれた区間の予



片山元八郎議員

算がつくと思う。県と確約はできていないが、9月末までには、見通しをつけたい。

Q 現在頓挫している区間の工事見直しは。

A 町長
地権者に対し、理解・協力頂けるよう町としても努力している。

Q 公共事業の土地収用を容易にするため、町独自の条例を制定してはどうか。



渡辺俊徳議員

A 町長
現行の「土地収用法」は弱すぎる。法律を強化すべきと考える。

A 副町長
憲法・地方自治法・土地収用法を越える町条例の制定はできない。



ドレミア・サークル

問 松くい虫防除対策と将来の森林施業は

答 防除、駆除は不可能

Q 近年急激に松くい虫による被害が拡大している。このままだと松林は壊滅の憂いもある。現在の対策で防除駆除ができるのか。

A 町長
松くい虫による被害林対策など、将来の森林施業についてどのように考えているのか。

Q 道路側面にのぞんでい

A 町長
被害木を伐倒し集積して薬剤による防除、駆除をしているが被害防止は不可能である。

る被害木は交通障害となり事故にもつながる危険性もある。これらの対策は。

A 町長
被害木を伐倒し集積して薬剤による防除、駆除をしているが被害防止は不可能である。

Q 合併前旧町村で使用されていた、火葬場1箇所、ゴミ焼却施設3箇所は現在廃墟の状態である。

A 町長
管理はしていない、建設の場合は、国の補助

金などあるが、解体の場合はない。単町事業で全施設を解体撤去するには数千円必要であるが放置できない。いずれ早いうちに年次的にでも取り組みたい。

一般質問



産業建設常任委員会調査

問 二期目の重点政策は

答 町立病院を軌道にのせたい

Q 牧野町政二期目の重点政策は。

A 町長 神石高原町立病院を早期に軌道にのせたい。

- 肉用牛改良センター跡地の活用
- 行財政改革に取り組むと同時に将来に向けて夢の持てる施策（井関定

住団地の開発)

- 企業誘致
- 定住施策の積極的な推進
- 情報通信網の整備
- 小中学校再配置問題
- 公共交通のあり方検討
- 限界集落への取組、支援



藤田晃己議員

Q 農業振興策、少子化対策、緊急経済対策など必要では。

A 町長 法人化の推進と少量多品目栽培農家と直販施策の支援
○緊急経済対策も必要であるが単町費では限られる。

○子育て支援、教育支援も可能な限り範囲を広げてゆく。

Q 地球温暖化防止対策は。

A 町長 C O。削減には森林が多い我町は貢献していると思っている。条例制定は検討中であるが、私としては交付金の受皿になるような条例制定をしてもよいと思う。

問 備北フライトロードの供用開始は

答 早期供用開始に向け要望する

Q 広島県新道路整備計画（平成12年〜22年）地域高規格道路仮称備北フライトロード（国道182号線から中国横断自動車道尾道松江線甲山インター間の供用開始はいつになるのか。

A 町長 県は次期計画策定中

でまだ公表していないが早期供用開始出来るよう要望する。

Q 国道182号線改良時の迂回路はどこか。

A 町長 町内では二次改良、凍結対策、安全施設等実

施、福山市百谷付近登坂車線を引き続き要望する。通行止め時の迂回路は新市七曲西城線。

Q 消防団員の定員確保対策として活動服とアポロキャップの整備

地域の安全安心をまもる消防団員の処遇改善と、



小川清治議員

消防団の充実発展に向けて予算措置をすべきだ。

A 町長 団本部会議で各分団、各部において団員の掘り起こしをお願いした。豊松消防詰所整備は設計段階。油木方面隊指揮車は配備済み。防火水槽は整備中。定員確保に何が一助となるか検討する。

Q CATV事業は基本的に行政告知放送全戸加入とし、テレビ、電話、インターネットなどは任意加入とすればどうか。

A 町長 まだ、その段階にきていないので何とも言えない。



油木小運動会